初級

クイズコース

海岸植物こども博士になろう！

海辺（砂浜）に出かけて、９つのクイズに答えてみよう！親子で一緒に考えて５問以上正解できたら、あなたも「海岸植物こども博士！」。認定証をプレゼントします。

※認定証は、お父さんお母さんに印刷してもらってください！

まずは、砂浜を眺めてみよう！

問１

あなたが出かけた砂浜はどんな場所でしょう？
どんな自然環境で、どんな使われ方をしていますか。
あてはまるものを選んでください。

1　砂がある
2　海岸植物が生えている
3　岩場がある
4　漁船や漁具が置いてある
5　海水浴やサーフィンをしている人がいる
6　その他（　　）

問２

砂浜の砂に砂のほかに混ざっているものはありますか。実際に砂を手にとって観察してみよう。

1　貝がらやサンゴのかけら
2　ガラス片
3　プラスチック片
4　その他（　　）

問３

砂浜は、海岸植物以外に、昆虫や動物もくらしています。
みつけた生きものを３種類あげてください。

（　　）（　　）（　　）

海岸植物を見てみよう！

問 4

海岸植物はどんな場所に生えていましたか。

1　波がいつもかかっていて海水で濡れている場所

2　水際から少しはなれていて、普段は乾燥している場所

3　砂浜からちょっと離れた駐車場や街なかなど

問 5

海岸植物を見つけて写真に撮ってみよう！

問 6

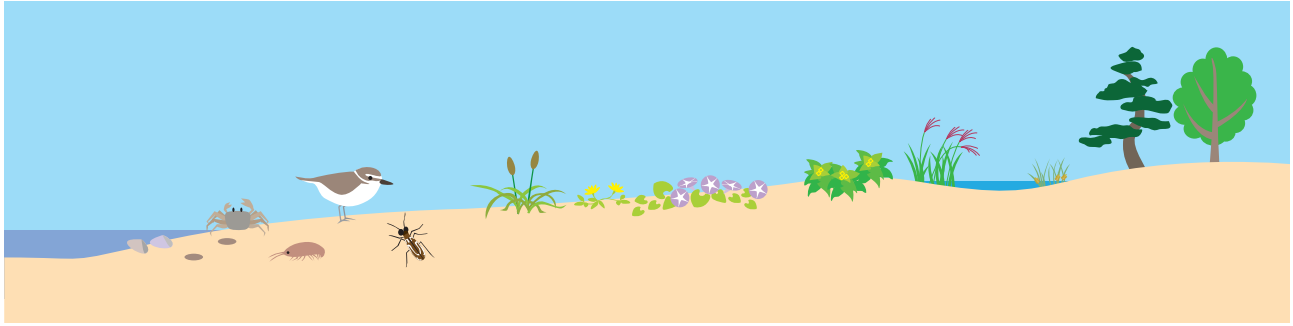
強い風が吹く砂浜にも海岸植物が生えています。

どうやって飛ばされないようにしているのでしょうか。

1　根やくきを地中や地表に張りめぐらせて、飛ばされないようにしている

2　海岸植物は石のように重くて飛ばされない

3　飛行機の翼のような葉っぱになっていて、飛ばされないようにしている



みんなで海岸の環境を守ろう！

問７

砂浜は海岸植物以外にもいろいろな生きものが利用しています。ウミガメは毎年７月～９月の太平洋岸の砂浜にやってきます。何をしにくるのでしょうか。

1　えさを食べるためにやってくる
2　卵を産むためにやってくる
3　浦島太郎に会いにやってくる

問８

砂浜に海岸植物が生えていると、人や生きものにどんな良いことがあるでしょう。
考えて１つあげてください。

（　　）

問９

海岸植物がたくさん生えていたり、ウミガメが安心して卵を産みに来ることができる海岸を増やすためにあなたができることを、お父さん、お母さんと一緒に考えて１つあげてください。

（　　）

写真：NPO 法人表浜ネットワーク

公益財団法人
日本自然保護協会
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

最後までよくできました！

解説シート

海辺の自然について、いっぱい見て考えることで、海辺の環境への親近感がわき、大切な自然であることを体感できます。本シートを用い、お父さん、お母さんが採点してあげてください。
※海岸ごとに環境は異なります。下記は標準的な回答を記載しています。

問１　「砂浜」を「砂」以外のものにも眼を向けてじっくり観察してもらう機会を作ることが目的の設問です。海岸植物をはじめとした自然環境や人が生活し利用する場所であることなどを知るきっかけにもなります。親子で観察して、「砂」以外のもので実際に見られたものを正解としてください。

問２　海岸の砂は、岩石が砕けて出来た砂以外にもいろいろなものが含まれることがあります。ルーペ（虫めがね）を使うとよく見えます。
・サンゴや貝がらのかけら（沖縄などのサンゴ礁域の砂浜は砂の部分よりもこれらが多くなっています。
・ビンなどが割れてできたガラス片、せとものの破片
・プラスチック片
※プラスチックは分解が進みづらく、ウミガメや魚が餌と間違えて食べてしまうなどの環境汚染が心配されています。
実際に見られたものがあれば正解にしてください。なければ「ない」という回答も正解にしてください。

問３　海岸は、砂だけの砂漠のような場所と思われがちですが、海から陸に移り変わる「海岸エコトーン」と呼ばれる移行帯で、砂浜にしか住んでいない生きものもいます。
・カモメなどの海鳥
・砂浜に穴をあけてくらすカニ
・浜辺の昆虫であるハマトビムシ
・砂浜で暮らす貝がら
など多種多様な生きものがくらしています。時間帯によっては、生きものが見つかりにくいこともあります。そんなときは、穴や羽など、生きものの痕跡も観察対象になります。親子で観察して、実際に見られたものを正解としてください。

問４　正解は　２の「水際から少しはなれていて、普段は乾燥している場所」です。
海岸植物は、潮風や塩分に強い種類ですが、「波がいつもかかっていて海水で濡れている場所」では生育することができません。また、堤防や道路、松林などで海と陸が分断された陸側には、主に陸の植物が生育しています。海岸植物は、海と陸の間の微妙な環境バランスの中で生育している種類です。

問５

海岸植物の写真を撮ってみましょう。１種類でも海岸植物を見つけられれば正解としてください。（場所によっては探したけれど海岸植物がみられないという浜もあります。見られない砂浜で原因を考えるなどすると、大切な気づきの一つとなります。）
自然しらべ参加マニュアルやＷＥＢ海岸植物図鑑などを参考にしながら、ぜひ親子でしらべてみてください。海岸植物の名前がわからなくても大丈夫です。日本自然保護協会の自然しらべの結果投稿フォームから送っていただければ、種名をお伝えすることができます。

問６

正解は、「１、根やくきを地中や地表に張りめぐらせて、飛ばされないようにしている」です。
実際に海岸植物のまわりを掘って観察してみると、そのようすがわかります。観察したら必ずもとに戻しましょう。保護地などでは掘らずに観察しましょう。

問７

正解は「２、卵を産むためにやってくる」です。
アカウミガメは、ピンポン玉ほどの卵を 100 個前後、砂浜に産みます。孵化に 60 日ぐらいかかります。孵化率は温度や産卵場所が海水をかぶったかどうかに大きく影響されてしまいます。海岸植物が生育する場所は、海水がかぶりづらくウミガメが掘りやすい砂質であることも多く、産卵に適した場所でもあります。

問８

海岸植物があることで、こんなに良いことがあります。
・砂浜から街なかや道路などへの飛砂を防いだり和らげることができます。
・昆虫などの生きものにくらす場所を提供しています。
・海岸植物が作る小砂丘によって、高波などを和らげることができます。
・美しく咲く海岸植物の花は、見る人の楽しみになります。貴重な観光資源にもなっています。

問９

海岸植物がたくさん生えていたり、ウミガメが安心して卵を産みに来ることができる海岸を増やすためにできることは、以下のような例があります。
・海辺にゴミを捨てないようにしたり、ゴミを拾ったりする。
・海岸植物を踏み荒らさないようにする。車で海辺に入らないようにする。
・海辺の自然の大切さをみんなに伝えて広め、知ってもらう。
・海辺を大切に思う仲間を増やす。
・海辺の自然の調査活動に参加して自然の情報を集める。大切な海の資料になります。
※「自然しらべ 2016 海辺で花しらべ！」に海岸植物の写真を提供することも、大切な海を守る活動の一つです。

※クイズの答え合わせをしたら「海岸植物こども博士　認定書」（PDF）をプリントアウトして、お名前を書いてお子さんに手渡してあげてください。PDF ファイルに直接名前を入れることもできます。

公益財団法人
日本自然保護協会
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN